

## 2022年度 個人研究実績・成果報告書

2023年 4月 23日

所属	商経学部	職名	教授	氏名	森 久人
研究課題	パーパス・ブランディングを目的とした企業広告とエコラベルの活用				
研究キーワード	パーパス・ブランディング、企業広告	当年度計画に対する達成度	4.当初の計画どおり研究が進まなかった		
関連するSDGs項目	12. つくる責任 つかう責任	14. 海の豊かさを守ろう	15. 陸の豊かさを守ろう	該当なし	

## 1. 研究成果の概要

企業が社会に対して存在意義を示すパーパスの意味は多様である。企業のパーパスに対する概念の変化について文献整理を行った。周辺領域として人々の生活の変化と質にウェルビーイングを重視した経営とブランディングを高める効果があることに興味を深まった。企業の存在価値をブランディングに結び付けることで、より長期的に消費者との信頼関係を構築できる。パーパスの視点からブランディングと企業の存在意義を明確にしている。文献のレビューからはじまりパーパスを重視する企業の事例を集めてまとめている。さらに課題を発展的に解釈してパーパスをめぐる理論構築と商品販売について検討している。持続可能なエシカル消費に対する消費者の関心や企業の取り組みをメディアにおける露出度とともに取り上げる。エコ活動に対する取り組みを明確にすることによって、消費者との結び付きがより強固になるという方向性も検討している。一方、エコラベルに関する検討は複雑な表示と活用のむずかしさから、現時点では企業の利用の効果において十分な考察がなされていない。

## 2. 著書・論文・学会発表等（査読の有無及び海外研究機関等の研究者との国際共著論文がある場合は必ず記載）

【論文（査読あり）】

【著書・論文（査読なし）】

【学会発表等】

## 3. 主な経費

デスクトップパソコンに不具合が生じたため、新規に大学生協より購入し半分程度の予算を使用した。データを扱う上でスペックも十分でしばらく使用が可能である。最近のパーパスおよびブランディングに関する書籍及び雑誌の購入を積極的に行った。パソコンソフトは、一部のサブスクリプション継続と購入を行っている。インタビュー調査については十分に時間を取り行うことができなかつたため、交通費と謝礼はあまり使用しなかつた。

## 4. その他の特筆すべき事項（表彰、研究資金の受入状況等）

(本文は2ページ以内にまとめること)